

平成 22 年度磐田市文化財保護審議会天然記念物部会議事要録

1. 日 時 平成 23 年 3 月 18 日（金）13:30～15:30
2. 場 所 磐田市埋蔵文化財センター 2 階研修室
3. 出席者 天然記念物部会委員 4 名（芹澤部会長、西東委員、高橋委員、藤澤委員）
教育委員会事務局職員 3 名（山崎課長、早澤課長補佐、竹内係長、神谷）
4. 傍聴人 なし

5. 会議要旨

1) 議事

(1) 22 年度天然記念物関連協議・調査について

〔事務局説明〕

- ・ 県指定文化財善導寺大クスについて、枯枝落下の危険性があるため、7 月 15 日に現地調査を行い、10 月 12 日に造園業者による枯枝処理を行った。
- ・ 11 月 4 日、文化財保護審議会を開催。省光寺イチョウを指定候補として報告・審議を行った。2 月 16 日に芹澤部会長による再調査を実施。
- ・ 平成 23 年 3 月 18 日、花咲乃庄のドウダンツツジを指定候補物件として調査を行った。

(2) 熊野の長フジの管理について

〔事務局説明〕

- ・ 保護管理歴で指導いただいた内容で薬剤散布を行って、フジツボミタマバエの被害は今年度もほぼなかった。
- ・ フジこぶ病の治療は 2 月に行った。今まで治療を行ったところについて新たなものは出ていないので、ある程度治療の成果が上がっているように思われる。
- ・ 昨年、2 月の施肥が雨等の影響で、土が発酵しており、もう少し早い時期での施肥を行うように部会で指導を受けた。今年度はひと月ほど早めて施肥を行ったが、今回も発酵してしまった。対策を教えてください。
- ・ 現在、冬場の虫害防除を行っていないが、何か行う必要があるか教えてください。

〔委員より〕

- ・ 国指定木の枝を切り詰めたと考えているが、切り詰めてよいものか教えてください。
- ・ フジ瘤病について地下の根にある瘤は消毒等に対応できるかどうかしたらよいか教えてください。

〔主な意見〕

- ・ ブラドミンという肥料は、特殊肥料で発酵しやすい、肥料を変えてみる。穴肥えでなく散布の方がよいのでは。現状のやり方ではあまり効果がないと思われる。
- ・ 具体的な虫害、虫の発生がなければ防除する必要はない。
- ・ 枝は更新をした方がよい。更新しないとカミキリムシが入ってボロボロになる。更新して元気な

ものを伸ばしていったほうがよい。

- ・消毒等でコブの根絶はムリ。コブを見つけたら早めに取り除くこと。

(3) 善導寺大クスについて

〔事務局説明〕

- ・磐田駅北口広場の整備にともない、善導寺大クスについて現状の公園から再整備を行う。23年度に実施設計を行う予定。整備にあたり委員の皆さんにもご協力をいただきたい。

2) 現地視察（行興寺：熊野の長フジ）